

H23

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	A	
番号・取組事業名	14001	組織構造の見直し	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31	
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	猿渡 久人	担当者	行政改革推進担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	現状における担当制を含め、職の設置及び職層と職務など(職制等)を、給与構造の改革とあわせ、組織の規模や職員の年齢構成などを踏まえた適正なものに見直し、職層ごとの権限と責任を明確にするとともに、効率的な組織運営を進める。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	見直しの方向性と課題の整理など					
平成24年度	実施	見直しに係る情報収集, 研究, 検討, 庁内調整など					
平成25年度	実施	例規の改正, 職制等の変更, 変更後の執行状況モニタリング					
平成26年度	実施	変更後の執行状況モニタリング, 変更内容の見直し					
平成27年度	完了	変更後の執行状況モニタリング, 変更内容の見直し					
成果指標	指標名	職層名, 職務名の見直し				単位	職層の数
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	9	9	9	6	6	6
	実績値	9					
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額					0
		実績額					0
見込まれる その他効果 (金額以外)	組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる						

H23

アクションプラン(平成23年度)

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	A			
番号・取組事業名	14001	組織構造の見直し	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31			
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	猿渡 久人	担当者	行政改革推進担当			
	区分	取組内容・目標							
平成23年度	実施	見直しの方向性と課題の整理など							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	課内における検討(担当制・職制等に係る現状認識など)			○					
2	庁内調査など(現状把握, 意見集約など)				○	○			
3	課内, 関係課における検討(見直し項目や方向性の検討, 課題の整理など)				○	○			
4	見直し事項の決定, 見直しに係る行動計画の策定					○	○		
5	条例・規則等の整備(可能なものがあれば)						○		
6	次年度以降における取組み項目の整理						○		
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	遅れている	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 副参事職の責任の所在と権限を明確にするため, 一部の副参事に専決権を付与し, 組織の肥大化を抑制した 副参事職への専決権付与の運用状況を検証し, 今後の運用のあり方を検討している 組織構造や職制等に係る現状の課題等については一定の整理をしたところだが, 見直しの方向性についての具体的な検討は進んでいない 給与構造の見直しとの一体的な検討が必要なことが課題である 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	職層名, 職務名の見直し		計画値	単位	職層の数	実績値	単位	職層の数
						9			9
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 課内での検討を経て, 「職制の見直しについて(案)」を作成した。 職制の見直しについて, 人事課, 給与厚生室を主体に, 市長も交えて課題の整理や見直しの方向性について検討を行った。 専決権を持つ理事及び副参事を増設し, 庁内分権の推進, 権限と責任の明確化を図った。 所要の規定の整備を行った。 次年度以降の給与・昇格制度の見直しの考え方について, 人事課から情報提供を受け, 論点整理を行い次年度以降の進め方を確認した。 					
	進捗状況【活動】	遅れている							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント					
	計画値	無							
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	権限の積極的な委譲と利用者サイドに立った見直しを行うこと					
	方向性	取組み強化							

H23

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	B		
番号・取組事業名	14002	弾力的な組織運営		作成日	H23.4.1			
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課		責任者	池田 高志			
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	部や課の枠組みを超えた対応が求められる課題や短期集中的な検討などについて、プロジェクトチーム方式による検討会などの運営を誘導し、それらの検討結果や進捗状況に応じ、施策展開や組織見直し等に反映させる。 また、必要に応じて、そのプロジェクトの位置付け(権限や責任の範囲など)を明確にし、決定事項を施策等に反映させるための制度づくりを進める。							
年度	取組内容・目標							
平成23年度	実施	検討会等の設置・運営等の支援(行革目標・課題を中心に) 制度づくりに係る情報収集, 研究, 検討, 庁内調整等(例規の整備含む)						
平成24年度	実施	検討会等の設置・運営等の支援 検討項目の選定の考え方(検討会等の設置基準, テーマの抽出方法)						
平成25年度	実施	検討会等の設置・運営等の支援						
平成26年度	実施	検討会等の設置・運営等の支援						
平成27年度	完了	検討会等の設置・運営等の支援						
成果指標	指標名	組織横断的課題, 市の行革重点目標に係る検討会の設置・運営数				単位	件	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	3	3	3	3	3		
	実績値	3						
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額					0	
		実績額					0	
	計	計画額					0	
		実績額					0	
見込まれる その他効果 (金額以外)	横断的連携の強化, 組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる		横断的連携の強化, 組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる		横断的連携の強化, 組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる		横断的連携の強化, 組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる	

H23

アクションプラン(平成23年度)

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	B	
番号・取組事業名	14002	弾力的な組織運営	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31	
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	池田 高志	担当者	行政改革推進担当	
	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	検討会等の設置・運営等の支援(行革目標・課題を中心に) 制度づくりに係る情報収集, 研究, 検討, 庁内調整等(例規の整備含む)					
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	検討会等の設置・運営等の支援			○	○	○	○
2	制度づくりに係る情報収集, 研究, 検討, 庁内調整等			○	○	○	○
3	例規等, 庁内ルールの整備						○
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	遅れている	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度より設置した「社会保障検討会」, 「収納対策検討会」のフォローアップを適宜行っている 「社会保障検討会」については, 上半期でまとめを終え, 結果の報告を行ったところ 「収納対策検討会」から派生した「私債権等に係る分科会」の運営に, 継続的に事務局として関与している 新規プロジェクト等の立ち上げや制度化に向けての検討は, 情報収集程度にとどまり行っていない(放射線対策を除く) 職員の弾力的運用に係る通知を行い部長権限による弾力的な組織運営の活用を促した。 		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	組織横断的課題, 市の行革重点目標に係る検討会の設置・運営数	計画値	単位 件 3	実績値	単位 件 3
達成状況【成果】		達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障検討会については, 事務局として参画し, 検討成果に関しての市長への報告を完了した 収納対策検討会については, 「私債権等に係る分科会」の運営に事務局として参画し, 『手引書』のとりまとめを行った。 下水道事業企業会計導入委員会の運営に参画した。 放射線対策, 放射性物質の除去(除染)業務の推進にあたり, 「職員の弾力的運用」に関係部署の理解を求め, 制度の活用に努めた。 制度づくりについては, 今後進めていくかも含めて再考が必要。 			
進捗状況【活動】		計画どおり					
計画変更(次年度以後)		取組内容	無	コメント			
	計画値	無					
評価	評価者	猿渡 久人	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	庁内検討会では, 進捗管理が重要。毎回, 到達点を確認し, 次回までの具体的な作業内容を決めて確実に実施するなど, 検討会の進め方に十分留意すること。			
	方向性	継続実施					

H23

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	B	
番号・取組事業名	14003	発達の気になる子どもの支援強化		作成日	H23.4.1		
担当部署	070900	こども部 こども発達センター		責任者	関口 洋一		
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	障害児及び発達障害児に対する相談から状態評価、コーディネート、療育サービスへと繋げる総合的な療育支援体制を構築する。 【具体的目標数値】 こども発達センターの外来療育サービス利用件数 14,600件(H21年度実績 5,612件)						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	実施	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。					
平成24年度	実施	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。					
平成25年度	実施	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。					
平成26年度	実施	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。					
平成27年度	完了	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。					
成果指標	指標名	外来療育サービス利用件数				単位	件
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	5,800	8,200	10,600	13,000	14,600	14,600
	実績値	7,500					
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額					0
		実績額					0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	早期発見、早期支援による児童への療育効果の増大、並びに保護者への情報提供・療育方法指導等による保護者・家庭支援の充実強化、及び就学相談への情報提供、相談支援を通じて適正な就学(特別支援学校・特別支援教室・普通学級等の選別)へと繋					

H23

アクションプラン(平成23年度)

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	B			
番号・取組事業名	14003	発達の気になる子どもの支援強化	作成日	H23.4.1	更新日	H24.3.31			
担当部署	070900	こども部 こども発達センター	責任者	関口 洋一	担当者	関口 洋一			
	区分	取組内容・目標							
平成23年度	実施	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	新規集団療育支援事業(児童デイの形態による支援(週2~3日通園))の実施			○	○	○	○		
2	専門職増員に向けた人員要望協議の実施					○	○		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	1について:定員を超えたため「キッズルームひまわり」に入園できなかった児童を対象に「ぶどうルーム」を新設し、支援を実施。対象児14名に対し、延べ470回の療育支援を行った。 2について:平成24年度に心理相談員増員(言語聴覚士からの職種振り替え)。言語聴覚士減員分を臨時職員対応で予算要望。キッズルームこすもすの受入児童数の増員に対する臨時保育士増員分を予算要望。利用希望者増加に対応するため、正規職員の増員について、引き続き協議を行う。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	外来療育サービス利用件数		計画値	単位	件	実績値	単位	件
					5,800			7,500	
	達成状況【成果】	達成	コメント	・集団支援に関しては、「ぶどうルーム」の実施、「いちごルーム」のグループ増などにより、利用件数の増加につながった。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	鬼澤 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	外来療育サービスの利用件数を増加させ、療育サービスの充実を図ったということでは、期待を上回るものとして評価できる。今後もさらなる充実を目指して取り組んでもらいたい。					
	方向性	継続実施							